

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	ポストコロナの子育て支援
資金分配団体名:	公益財団法人東近江三方よし基金
実行団体名:	一般社団法人ぐるり（前Loops）
実施時期:	2021年5月～2022年2月
事業対象地域:	滋賀県東近江市（聖徳中学校区）
事業対象者:	子育て中の親と子

Version 3.2

日付: 2022/3/14

I. 事業概要

事業実施概要	<p>ポストコロナにおける子育て支援は、「つながりを切らない」ことが重要だと考え、妊娠期・0～18歳の子どもと家族の総合窓口としての機能を強化するための様々な取り組みを実施しました。</p> <p>①アクセスのハードルを下げるため、市内中心部の大型商業施設に拠点を置きました。その結果、偶然通りがかった親子の利用が増えました。</p> <p>②利用の間口を広げるため、これまでであったつどいの広場事業に加え、スクール事業・サポート事業を開始しました。多様な講師を招いたスクール事業は固定ファンを生み、新たな人たちとつながるきっかけとなりました。</p> <p>③来所中心だった子育て支援に、オンラインとアウトリーチを取り入れたことで、なかなか外出できない人とつながり続けることができました。</p>
--------	---

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>子育て世代の孤立防止、子育て世代との切れ目のない関係継続を課題とし取り組んできました。新型コロナウイルスは生活の一部となり、物理的に他者と関わる機会が少ないのが当然な日常です。この間、出産をされた方もたくさん当施設を利用してくれました。行政の様々な子育て支援のイベント（両親学級、親同士の交流、離乳食講座など）が中止や規模縮小のなか、不安な気持ちを持っている方が多いと感じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクール事業をスタートし、実際に他者と関わる機会を提供できました。離乳食講座は毎回、参加者の言葉の端々に、子どもと向き合う日々の大変さやプレッシャーの大きさを窺い知れました。 ・持続可能な子育て支援を考える意見交換会を計画しましたが、コロナ収束が見込めず内容を見直し、子育て未経験の男性に話を聞く場を設けました。そこから見えたのは、少子化社会において、当事者だけで子育ての課題を考えるには、人が少なく声が小さくて届かないというリアルです。当事者ではない私たちのまわりにいる人たちに、どうやって働きかけ子育てに巻き込んでいくかが、今後の活動に重要なポイントだと考えます。
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
その他	連携の不足	スクール事業のスタート	<ul style="list-style-type: none"> ・講座開講数 ・利用者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座100コマ開講 ・利用者のべ500人 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座80コマ開講 ・利用者のべ311人 	<p>受益者：子育て中の親と子</p> <p>利用の間口を広げるため、スクール事業を開始。コロナ影響で目標80%の開講状況であるが、多様な講師を招いたスクール事業は固定ファンを生み、新たな人たちとつながるきっかけとなりました。</p>
その他	連携の不足	サポート事業のスタート（買い物代行・洗濯代行・家事代行）	<ul style="list-style-type: none"> ・公式LINE登録者数 ・チラシ配布数 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者30人 ・配布数100枚 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者21人 ・配布数150枚 	<p>受益者：子育て中の親と子</p> <p>利用の間口を広げるため、サポート事業を開始。新型コロナウイルスは生活の一部となり、物理的に他者と関わることに抵抗のある対象者もあり、登録者数は目標の2/3でしたが、ワンコインサポートの仕組みと運営体制を構築できました。</p>
その他	連携の不足	ダイアログの場の開催	参加者数	参加者数5人	参加者数3人	<p>受益者：子育て中の親と子</p> <p>持続可能な子育て支援を考える意見交換会を計画しましたが、コロナ収束が見込めず内容を見直し、子育て未経験の男性に話を聞く場を設けました。そこから見えたのは、少子化社会において、当事者だけで子育ての課題を考えるには、人が少なく声が小さくて届かないというリアルでした。</p>

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	つどいの広場に遊びに来る親子、スクールに通う親子、サポートを受ける親子、各々のニーズに沿ってこの場所に人が往来し、集まる人とのつながり、スタッフとの関わりが生まれている状態。
考察等	事業実施により、毎月の新規来所者数が以前の拠点施設に比べ増加しました。大型商業施設内に移転したこと、スクールの講座を主に30～40歳代の母親に向けた企画にした効果が出ていると思います。従来親子の行くところが「子育て支援施設＝子どもの話題が中心」の選択肢しかなかったところに、母親自身の趣味や関心にフックし、そこで出会うことから子育てや生活の悩みが話されるという流れが生まれたことは、期待通りでした。今後はこの場所が子育て中の親子にとって、より充実感を持って過ごせる場所となるよう、空間の質・イベント企画の質の向上を目指したいと考えます。

V. 活動

活動	進捗	概要
①感染対策を整えた施設整備	計画通り	平和堂内の拠点、駅前の支店ともに、整備工事を完了し事業をスタートすることができた。
②ICTを活用した支援体制の構築	計画通り	施設のICTを整備し、オンラインイベントをスタートすることができた。また、ティーン向けオンライン居場所づくりの基盤を作ることができた。個別の相談支援の仕組み構築は引き続き検討することとした。
③スクール事業のスタートアップ	計画通り	期間中80回の様々な講座を開講した。運営体制や人気講座の傾向が把握できたので、次年度以降の事業計画の参考にしてい

④サポート事業のスタートアップ	計画通り	ワンコインサポートの仕組みと運営体制を構築し、広報をスタートさせることができました。
⑤寄付の仕組みづくり	計画通り	子育て世代の健やかな暮らしや学びの機会を支えるため、寄付を募る仕組みを検討した。当団体の直近の事業計画に基づき、寄付体制は来年度以降引き続き検討することとした。
⑥持続可能な子育て支援を考えるダイアログ	計画通り	子育て未経験の3名の男性と対話の場を設けた。
⑦ティーン向けオンライン居場所づくり スタートアップ	計画通り	オンラインコミュニケーションツール「Discord」を利用した交流の仕組みを構築した。来年度から運営スタートする。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	土曜開館を始めたことで、父親の利用が飛躍的に増加しました。市内中心部の大型商業施設に訪れる高校生が「赤ちゃん抱かせてください」と来たりと、母親だけでなく多様な利用者が増加しました。
---------------------	--

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	コロナの収束が見込めないことにより、子育て中の家族が他者と関わりを持つ機会が明らかに減っています。子育て家族の孤立化は継続して深刻な課題であり、この状況で子どもを産み育てることへの不安が高まっていることで、少子化の傾向が改善する余地もないと考えられます。 今回の事業を通じ、この状況下で「自分のしたいことができ、遠慮や不安なく子どもと一緒にいられる場」と「子育て当事者でなくても子育てを考え話のできる場」が無いことがわかりました。今後、空間の質の向上・関わるスタッフのスキルアップ・当事者以外にフックする仕組みについて取り組んで行きたいと考えています。
-----------	---

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
東近江市、社会福祉協議会	孤立する母子への当事業の紹介
平和堂（大型商業施設事業者）	利用料の軽減

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	4,000,000	4,000,000	100.0%
	管理的経費	0	0	#DIV/0!
合計		4,000,000	4,000,000	100.0%
補足説明				

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	なし
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	①法人HP一式 https://gururi.org/ ②法人チラシ 2022年1月 500枚 ③サポート無料チケット 2022年2月 150枚
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	施設に設置
4.報告書等	なし

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	未公開	希望者には閲覧できるように会場に設置
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	

②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3. 関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4. コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置しましたか。	いいえ	
5. ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6. 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査 <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査 <input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7. 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	

XII. その他

自由記述
特になし